

外部評価 様式

令和2年度 城東小学校 外部評価 記入用紙	
評価委員：加藤一男委員、清水貞男委員、富田正一委員、千葉家門委員、倉橋邦夫委員 江口雅子委員、林登美雄委員、劔持隆委員、小村眞理委員	
評価時期	令和3年2月
<p>1 重点目標の評価</p> <p>重点目標1 「確かな学力の向上」について</p> <ul style="list-style-type: none">・ねらいを明確にした分かりやすい授業が行われていたことが、児童アンケートの高い理解度からもうかがえる。単なる詰め込み型の学習にならぬよう、今後も配慮して行ってほしい。・コロナウイルス感染症対策をとりながら可能な範囲で理数校外学習や実験教室などの取組を行い、体験学習の実践・充実に努めたことが保護者アンケートでも高い評価として表れており、大きな成果と言える。コロナ禍の収束が見えない中だが、引き続き期待したい。 <p>重点目標2 「心豊かな子どもの育成」について</p> <ul style="list-style-type: none">・城東小学校の伝統は、「あいさつ」と「たてわり班活動」による心情の育成であると捉えている。コロナ禍での様々な制限はあったが、あいさつキャンペーンを行うなど、できることを工夫して行ってきたことは保護者・児童アンケートの高評価につながっている。・今年度の様々な状況下での影響も反映してか、児童アンケートの「先生は悩みなどについて話しやすい」の項目が大きく後退したことは気掛かりである。日頃より児童への声掛けなどを一層意識した取組を期待している。 <p>重点目標3 「健康・安全教育の充実」について</p> <ul style="list-style-type: none">・三密を回避するために、コミュニケーション能力を育む機会の減少や体力向上の取組への影響が懸念されている。現況下で高評価を得ていることは好ましいが、屋上校庭や体育館などを一層活用し、児童に身体を大きく動かせる機会を保障してほしい。・感染症対策は継続しなければいけない。また、都心の学校という観点からも、安全教育は一層重要である。中央警察など、関連機関との連携をさらに図って、安全・安心な学校教育を願っている。 <p>2 今後の改善に向けた意見</p> <ul style="list-style-type: none">・感染症対策を継続しつつも、少しずつ例年のような活動ができるように期待している。学校で留まることなく、外部と連携し、児童の社会性を高めてもらいたい。・教育は学校で全て完結されるものではない。学校と家庭の協力・連携なくしては成り立たないので、保護者へのご理解をいただき、家庭教育の充実に努めるようお願いしたい。 <p>3 その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none">・たてわり班活動のさらなる充実に期待する。異年齢での関わりを通して、人を敬える心を育ててほしい。・地域との交流も大切なことなので、コロナ禍の動向を見極めながら、連携した教育活動を進めてもらいたい。・挨拶励行の取組は継続してほしい。	

* 各学校のホームページで公表していきます。